

平成22年度低炭素地域づくり面的対策推進事業【委託事業】選定地域一覧

番号	事業実施場所	事業概要
1	北海道札幌市西区地域	札幌市西区の公用車EVカーシェアリング事業を中核とし、地域エコポイントと連動したEVカーシェアリング事業での交通需要抑制・公共交通機関利用促進・地域活性化によるCO2削減地域計画を策定する。
2	関東・北陸地域(東京都、千代田区、神奈川県、横浜市、新潟県、新潟市、柏崎市、富山県、富山市、群馬県、さいたま市)	充電インフラネットワークの整備によるEVの普及、再生可能エネルギーの活用、そしてEVの市域内、広域都市間移動を組合せて、運輸部門のCO2の大幅削減を目指す「EV・PHV広域連携計画」を策定する。
3	埼玉県さいたま市地域	個人・事業用途の自家用乗用車を対象に、過度に自動車に依存した現状から低炭素型交通へのシフトを促すため、所有車最適利用、カーシェアリング、コミュニティサイクル、モビリティマネジメントの実証を進めながら地域計画を策定する。
4	千葉県流山市地域	流山市において、①地域グリッドによる太陽光電源利用効率(地産地消化率)の向上、②地域グリッド応用地域移動動線システムでのCO2削減、③緑化による地域清涼化などのシミュレーションを行い、低炭素化社会の実現に繋げる。
5	東京都新宿区地域	西新宿の複数の地域冷暖房地区についてエネルギー利用の高度化および熱の面的融通、ならびにデマンドサイドとの連携運用を行うことで、エネルギー使用量の削減を図り地域全体のCO2排出量を一括して削減する。
6	神奈川県箱根町地域	「EV中心の電動移動体の普及」、「公共交通利用促進」、「新エネ導入拡大」の3つを共通ICカードの整備と効果的な充電設備の設置でつなぎ、面的に展開する低炭素地域計画を策定し、「環境先進観光地:箱根」の実現を目指す。
7	山梨県都留市地域	低炭素地域づくりを進めるため、市町村では困難さが伴う排出量の現況値を、既存データより推計し、民生部門における削減を図るため環境抑制行動を通じてのシミュレーションを実施する。 また、排出量の約2割を占めている運輸部門で、自家用車の保有が増え公共交通による移動手段が減少する中、鉄道、路線バス、乗合タクシー等による新たな公共交通の利便性を高め、CO2排出量の削減を計画する。
8	滋賀県大津市地域	マイカー依存度の高い大津市でEVシェアリング等によるノーマイカー居住・観光可能性社会実験を行い、琵琶湖の自然環境を活かした再生可能エネルギーの導入調査と合わせて、先進的低炭素モデル街区の形成をめざす。
9	京都府笠置町地域	森林、温泉、湧水等地域資源をフル活用した植物工場や小水力発電、超小型モビリティなど、環境と経済の好循環による自立的・持続的低炭素化事業の実現に向けた検討を行う。
10	愛媛県松山市地域	道後温泉では環境に配慮した旅めぐりの新たなスタイルを検討し、道後温泉「百年の景」を軸に魅力ある都市型温泉郷づくりを進めている。滞在・周遊型のツーリズムをより展開していくために、道後ぐるりん(仮称)(エコ周遊モデルに対するエコポイント制度)を実験的に創設し、観光地におけるエコ交通・賑わい回復の実現を目指し計画策定する。
11	鹿児島県奄美市地域	本提案はマイカー需要抑制のため、公共交通(バス)の利用促進策について、地域エコマネーと連携した社会システムを検討する。また、地域環境整備として、自然エネルギーを活用した電動自転車等のレンタルステーションを検討し、環境負荷の小さい地域づくりを実現するための計画を策定する。